

下水道について
 大淀中学校 1年 長友 優空

僕達は、毎日水を飲む。水を使う。日本で暮らす僕達にとって水はとても身近なもので、水道のじょう口をひねるだけで簡単にいつでも水が飲めるし、使うことができます。それは何か特別なことなどではなく、当たり前前の暮らしです。

しかし、世界百九十六カ国のうち、水道水が安全に飲める国はわずか九カ国ほどしかありません。僕達が毎日当たり前のようになんか考えず、安全に水を使うことができず、何も考えず、安全に水を使うことができないのは、日本の下水道処理能力がとても高いおかげでもありません。

下水道に油などを流すと、冷えて固まってしまうので、下水道の中で固まってしまったり、水が流れにくくなります。フライパンやたべに付いた油は新聞紙などで油をきれいにふき取って、それから洗い流すと良いと思います。

いましたってゴミも排水口に流すと、下水道の

詰まる原因にもなるので、決してしないよう
 にしないといけません。
 日本でも、約五十年前の千九百七十年頃は、
 使用した汚れた水はそのまま川や海に流され
 ていました。この約五十年間で、汚れた
 水を、きれいにする技術がものすごく進歩し
 てきたことに、とても驚かされます。
 下水道管は道路の下、約二十メートルの場
 所を通っています。下水道のマンホールの小
 さい描かれてる絵は地域によつて違うデサイ
 ンになつています。東京ではサクラ、イチヨ
 ウ、ユリカモメがマンホールに描かれていた
 り、宮崎市では、市の花「ハナシ」ウブの
 デザインになつていたり、色々な県や地域
 に行つて、マンホールに注目して見てみるの
 も面白いと思います。
 マンホールから下水道に降りて、下水道の
 点検をしたり、修理をしたり、古くなつた下
 水道管を作りかえたりもします。下水道は目
 に見えない場所です。僕達の暮らしを支えて

います。水は、健康のため、農業や工業のため、人
 が生きていく上で、欠かすことができないも
 のです。安全でない汚れた水を飲んでしま
 うと、感染症をもたすたりもします。世界中
 では毎日、多くの子ども達も汚れた水のせい
 で命を落とされています。学校に行く時間もな
 く一日中、きれいな水をくむために、朝早く
 から夕方おそくまで歩き続けている暮らしを
 毎日している子ども達もいます。
 僕達は、ふたんどこにいてもきれいな水が
 すぐそばにあります。本当にありがたいこと
 だとあらためて感じます。
 まだまだきれいな水が身近にない発展途上
 国に日本の技術力を生かして、井戸や水道の
 整備を行ったりもしているそうです。とても
 すばらしいことだと思います。
 水をきれいにするために、色々な技術が使
 われていますが、微生物の力もかりていま
 す。汚れた水の中に微生物をたくさん入れ
 ます。

汚れをどんどん食べて、水をきれいにしてく
れます。

そして、きれいな水は川や海に戻さ
れます。川や海を汚さないこともきれいな
水を守るために必要なことだと思います。

今、僕は下水道のおかげできれいな水が
いつでも使えています。これからは地球の
環境が温暖化の影響や地震などの影響で、ま
まがまだ変化があると思います。

これからも今まで以上に水を大切にしてい
きたいと思っています。